

1. 汚水処理施設の整備状況について

(1) 平成 21 年度に連携事業を完了した市町の状況

平成 17 年度認定の 4 市町（別紙 1 参照）は、平成 21 年度末をもって連携事業を完了しましたが、これら市町における、認定時点の汚水処理人口普及率、認定時点における汚水処理人口普及率の目標値、完了時点の汚水処理人口普及率を取りまとめました（別紙 2）。

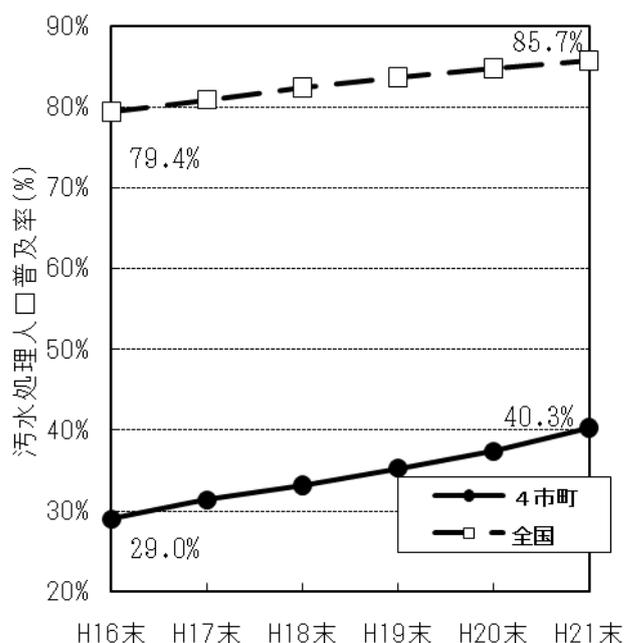
連携事業の認定から平成 21 年度末までに、島根県益田市、西ノ島町、隠岐の島町の 3 市町において下水道施設が新規に供用開始され、益田市においては農業集落排水施設、隠岐の島町においては漁業集落排水施設が新規に供用開始されました。また、各市町において浄化槽の整備が進められ、順次供用が開始されました。

平成 21 年度末の汚水処理人口普及率は、連携事業着手前である平成 16 年度末と比較して上昇しており、島根県益田市で 30.1%(+11.1 ポイント)、島根県西ノ島町で 61.0%(+10.6 ポイント)、島根県隠岐の島町で 39.3%(+9.9 ポイント)、山口県平生町で 75.6%(+13.8 ポイント)となりました。

全国の汚水処理人口普及率は、平成 16 年度末には 79.4%であったものが、平成 21 年度末では 85.7%になり、5 年間で 6.3 ポイント上昇しましたが、平成 17 年度認定市町についてみると、この 5 か年の間に 11.3 ポイント上昇しました。

連携事業の実施により、汚水処理施設整備の促進が図られたといえます。

[平成 17 年度認定市町における効果事例]



2. 汚水処理施設からの放流水質の状況について

(1) 平成 21 年度に連携事業を完了した市町の状況

平成 21 年度に連携事業を完了した市町の各汚水処理施設における平成 21 年度末時点の年平均放流水質を調査し、水素イオン濃度 (pH)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、浮遊物質 (SS) 等各値を取りまとめました (別紙 3)。

下水道の年平均の放流水質は、7 箇所の終末処理場で調査した結果であり、農業集落排水施設の年平均の放流水質は、4 箇所の汚水処理施設で調査した結果です。また、浄化槽の放流水質は、補助事業による総設置基数 1,784 基中 117 基 (うち BOD は 97 基) で調査した結果です。

	p H	B O D (mg/l)	S S (mg/l)
下水道	6.8~7.1	1.6~7.1	1.1~6.0
農業集落排水施設	6.5~7.0	1.5~6.3	1.4~4.1
浄化槽	4.2~7.5	0.5~18.0	—

3. 公共用水域の水質保全に向けた地域の取組

(1) 平成 21 年度に連携事業を完了した市町

平成 21 年度に連携事業を完了した市町では、施設整備の他に以下のような公共用水域の水質保全に向けた取組がなされています。

都道府県名	市町名	公共用水域の水質保全に向けた地域の主要な取組
島根県	益田市	下水道推進協議会や市のホームページ・広報誌により集合処理施設への接続推進を行い、また、下水処理場の見学会を開催して公共用水質の保全に向けたPRを行っている。
島根県	西ノ島町	各地区の下水道推進委員による啓蒙活動、町職員の戸別訪問により下水道接続の推進活動を行っている。
島根県	隠岐の島町	推進協議会や町の広報誌により集合処理や個別処理の普及啓発活動を行っている。
山口県	平生町	公共用の水質保全に向け、町広報誌で水洗化促進のお願い等を掲載しPRに努めている。また工事施工前に各地区で開催している下水道の説明会で下水道により公共用水域の水質保全の改善が図られる等PRに努めている。